

酒類製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	14~ 15	本社に於いて、濾過機を加熱殺菌する為、ホースで70~80℃のお湯を砂糖溶解槽へ溜めていた。ホースを固定するカムロックのレバーを締め直そうとした時、誤って必要以上に固定金具が緩んでしまい、カンとホースが外れ、右顔面に湯がかかり、額・頬・唇に火傷を負った。	48	341	11	10 ~ 29
2017	2	9~10	酒造蔵のセメントの床に伸長してあった酒を輸送するホースにタンクを洗うために水を入れたバケツを運んでいる途中少し急いでいた為ホースに躓き転倒し腰を強打してしまった。	60	417	2	1~ 9
2017	2	11~12	被災者は、商品仕上室内にて、焼酎を入れる外箱組立の作業を終え、交代で担当する者に「外箱組立を終えた」旨のメモ（バインダー）を机に置きに行こうとした際、外箱の直置きを避けるために敷いていた介材紙（厚み5mm程度）に右足つま先を引っ掛け、積んでいた外箱（4段、高さ1m20cm程度）に前のめりに転倒し右肩を捻った。（右肩甲下筋断裂）	63	529	2	100 ~ 299
2017	4	9~ 10	ワインの濾過室で、濾過作業をしている時、近くにあったお湯が流れているホースが破裂して噴き出たお湯が陰部、両太ももに掛かった。原因はホースの老朽化による破裂である。	37	379	11	50 ~ 99
2017	4	13~	消費期限切れの蜂蜜を廃棄処分する為、蔵内からウイスキー蒸留棟へ開栓途中の一斗缶を運んでいる途中、手を滑らせ一斗缶を落とし	30	611	4	10 ~

		14	た。その際に切り口部分で右手中指を負傷し、右中指皮膚欠損創を負った。					29
2017	4	10～11	工場内においてフレコンバック（ビニール製の大袋）の洗浄作業の準備をする為フレコンバックの中央をつかもうと大きく右足を前に出した。その際、積み重ねられていたフレコンバックの上に足を乗せたことにより、フレコンバックが滑り足が大きく右外側に滑り骨折した。	64	611	2	～	100 299
2017	7	12～13	兼用Aラインにて機械への資材供給作業中、資材を積載していたパレットが空になったので片付けようとした際、パレットを持ち上げたところ手を滑らせ左足甲にパレットが落下した。	54	611	4	～	50 99
2017	7	10～11	工場2階のラベラー機前で1.8?ラベル張り作業終了後、ラベラー部品の取り外し作業時、2人で作業中、1人が声かけをせず、手動電源を入れ機械を回転させてしまい、ラベラー機に右手を挟まれた。	48	169	7	～	50 99
2017	7	10～11	二次加工場にて、1.8?瓶を箱から段ボールに詰め替える作業において、完成した段ボール（20kg弱）をパレットに積む作業を行っていた。低い所への積みつけ時に中腰となり、その際に腰に痛みを感じ、作業を中断した。	36	921	19	～	100 299
2017	7	13～14	当工場内にある品質管理棟内の階段で、他現場に向かうため2階から1階へ移動中、手に荷物を持っていない状態で手摺りに手を掛け、階段を下りていた。階段が終了する1～2段手前で、次の行動であるヘルメットに意識が移り、その瞬間に手摺りを放し、階段から落下した。なお、踏み外した段数（1～2段）の記憶はない。	51	413	1	～	100 299
2017	9	14～15	製品倉庫内にて、フォークリフトを使用し荷受けステージ上へ運搬していたところ、荷卸しの際にフォークリフトの爪がパレットに引っかかったために爪を抜こうとバックしたが、アクセルを踏み過ぎ、ハンドルが切られていたために急旋回し、ステージ下（約1.5m）へフォークリフトごと落下した。転落の際にコンクリート床に体を打ちつけ、左足踵の骨折および第五脊椎を圧迫骨折した	59	222	1	～	100 299

			ものである。				
2017	9	16~ 17	当人は商品包装業務を常として勤務していたが、月末のため5階の倉庫内の商品在庫の確認のため台（アルミニウム製）の上に上り確認作業をしていたところ、アルミ台のストッパーが掛かっておらず、4本の足が滑り左右に広がり真下に転落する事となり、怪我をすることとなった。後は、動くことも出来ず、四つん這いになり鉄扉まで移動して隣室の方に知らせ、救急車を呼んでもらい病院まで運んでもらうこととなった。	32	371	1	50 ~ 99
2017	9	9~ 10	当社において、酒造準備のため1Fの床、壁、仕込み蔵の清掃作業中、冷蔵庫の壁を洗うため脇の柱に梯子を掛けて約2m高（一番上）まで昇り洗おうとしたところ、床が水で濡れていたため梯子の根元が滑って梯子と共に落下、梯子に股間（辜丸）を強打した。	69	371	1	30 ~ 49
2017	10	9~ 10	蔵の3階から2階へ下りる階段の下から2段目より落下。物干し作業後の移動中に足を踏み外して左手をついて転倒した。	43	413	1	10 ~ 29
2017	11	8~9	自宅前に駐車してある車に出張時の荷物を積むために、荷物を右手に持ち車に近付いたところ、地面が氷状で滑り転倒時に左手をついて痛めた。	64	719	2	50 ~ 99
2017	11	9~ 10	従業員にお茶を出すため、サンダルを履いてお茶菓子を持って運んで母屋に戻ってくる途中、転んで左足の膝の下の骨にヒビが入ってしまった。	65	417	2	10 ~ 29
2017	11	13~ 14	年末の仕込み繁忙期にあたり、当日も朝礼で作業上の安全配慮について注意を喚起した。午前中より、びん酒の蓋くり抜きプレス機で着装作業をしていたが、エア漏れ音がしたため、午後の作業開始時に当該箇所を特定するため、探したが、電源を落としていなかったため、誤ってプレス部に挟まれた。瞬時に手をどけたが、右手薬指の先端を切創した。	58	169	7	10 ~ 29
			レッテルを貼る機械に証紙をセットした時、スイッチのボタンを押				30

2017	11	9~ 10	すタイミングを誤り、人差し指と中指を巻き込まれた。巻き込まれたことにより指が圧迫裂傷した。	24	169	7	~ 49
2017	11	14~ 15	工場内で、割水作業の為屋内タンクの上で攪拌機を持ち上げている時に足が滑り転倒し、腰を骨折した。	45	321	2	10 ~ 29
2017	12	8~9	米の入ったフレコンをクレーンで吊り上げる作業の際、蒸し器の架台に吊り金具が引っ掛かった為傾き、それを修正しようとした際にステンレス製の金具に引っ掛け裂傷を負った。(巻き上げ490kg)	34	211	8	30 ~ 49
2017	12	13~14	酒粕を切り分ける作業終了後、作業台上の物の上に置かれていた包丁の刃先が浮いていたが、そのまま作業台の片づけをしていた。包丁の刃先に手が接触し、右手人差し指を切った。	31	364	8	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html